



地域の輪の中で育つ 子どもたち

瀬戸・^{ながね}長根小PTA

長根小学校は、昭和41年に開校し、現在児童は少しずつ増加し、500名を超えています。学校をとりまく地域は、平成27年度に内閣総理大臣から「安全・安心なまちづくり関係功労者表彰」を受けるなど活動が盛んです。PTAは、そんな地域と協働して学校を支援しています。

毎年夏休みには、PTAが地域団体の協力を得て、「親子のつどい」を開催しています。夏祭りのような



「親子のつどい」での昭和遊び。あやとりやお手玉を教えてもらいます。



「親子のつどい」にはストラックアウトも。公民館のかたがたが運営します。



地域の餅つき大会は、PTA役員もお手伝い。

行事で、毎年1,000名を超える参加者があり、子どもと親、地域、学校のきずなを深めています。地域のかたには、ストラックアウトやスナッグゴルフなどのゲーム、お手玉や竹馬などの「昭和の遊び」を行っていただいています。また、PTA会員を中心とする読み聞かせグループ「葉っぱの会」では、自作の大型絵本を用いた読み聞かせを行っています。

一方、地域の行事である餅つき大会や体育祭、日常活動として行われているパトロール活動などには多くの役員が参加し、地域とPTAのつながりを強くしています。



DATA> 所在地●瀬戸市東長根町166 児童数●503人 周辺環境●瀬戸市の西部を一望する丘陵地であり、校区には交通量の多い国道や県道が通っている。市内でも有数の商業地にあり、住宅開発も進んでいる活気ある地域である。